

取扱工事説明書

このたびは、TBC商品をご採用いただきまして、まことにありがとうございます。取付施工手順の際、商品の機能が十分に発揮できるようにこの説明書をよくお読みのうえ、使用条件にそって正しく施工して下さるようお願いいたします。また、この説明書は施工完了後に必ずお客様にお渡しください。

1190

目次	ページ
1.安全上のご注意	1
2.器具の取付け	2
3.施工後の確認	8
4.仕様・寸法図	9
5.構成図	10
6.使用上のご注意(お客様へ)	11

TBC FLAT SERIES
TABUCHI (水栓コンセント・単水栓)

横水栓・ホース接続

SP1190S (緊急ストッパー付)
SP1190SA (緊急ストッパー・ウォータハンマ緩衝機構付)
SC1190S (緊急ストッパー付・逆止弁なし)

1 安全上のご注意

※ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
※ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
※施工完了後、試験運転を行い異常が無いことを確認するとともに、説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
又、この取扱工事説明書は、お客様で保管頂くよう依頼してください。

●表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を次の表示で説明しています。

注意 この表示は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

●お守りいただく内容を次の絵表示で区分し、説明しています。

禁止 この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

強制 この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

〈施工前の確認事項〉

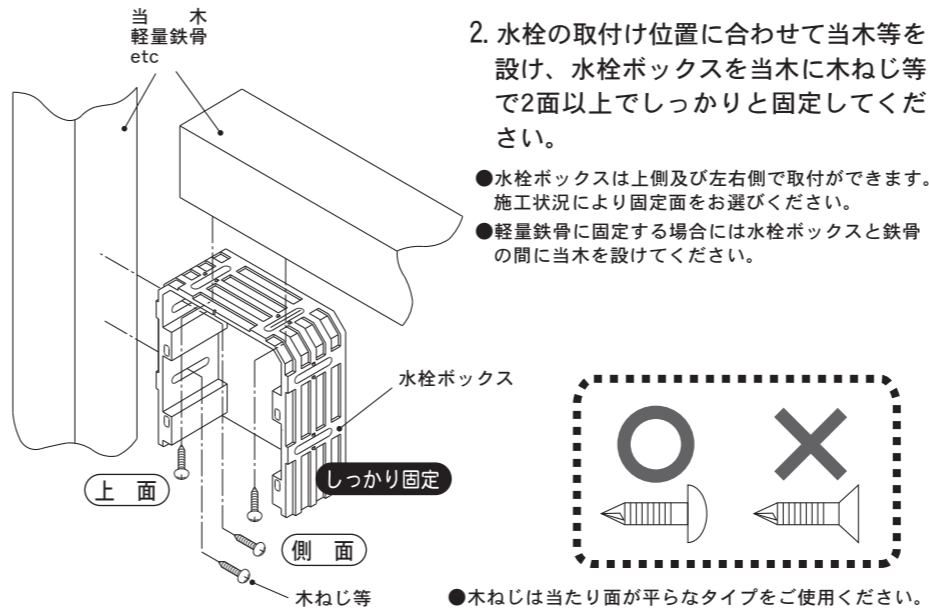
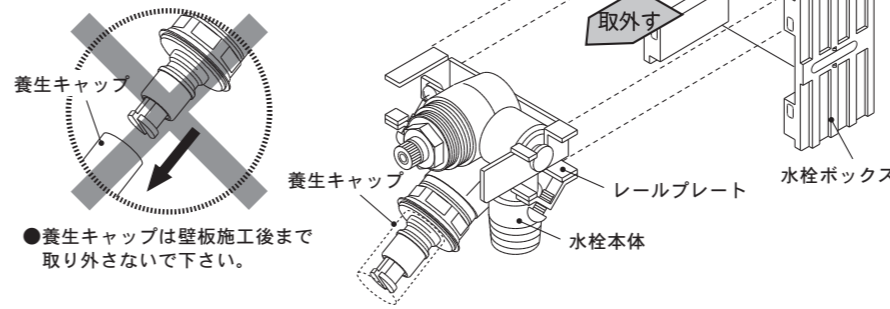
注意	
!	施工前には必ず壁板厚をご確認ください。本商品は壁板厚が9.5mmから25mmまでに対応しています。
!	壁内空間は40mm以上を確保してください。
!	水栓に接続する配管や継手の経路がボードや下地材等に接触しない事を確認してください。接触する場合は偏芯ソケットを使用したり、下地材の逃げる加工を施してください。

施工の前には、「取扱工事説明書」を熟読し正しく施工してください。また、ご不明な点は弊社担当者と充分打合せのうえ、実施してください。

2 器具の取付け

1.水栓ボックスの取付け

1. 水栓本体前方に引き出し、水栓ボックスより取外してください。

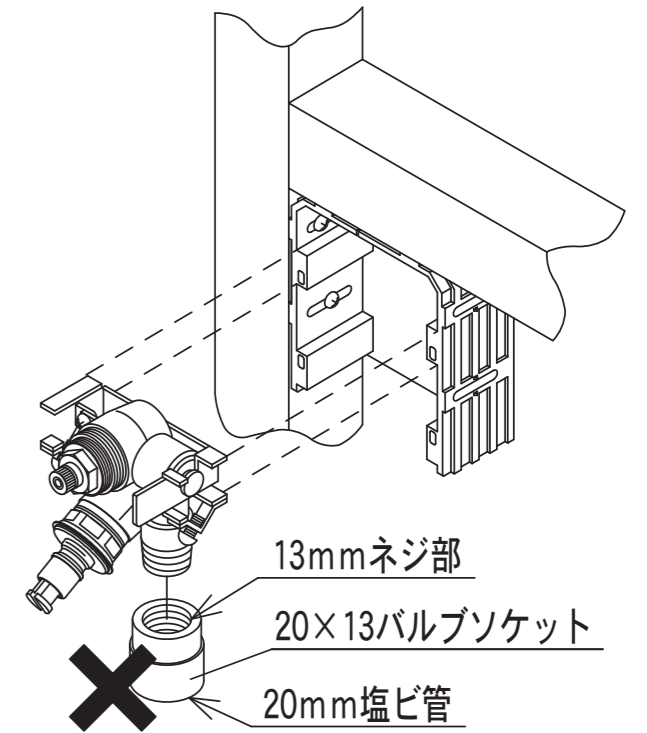


-1-

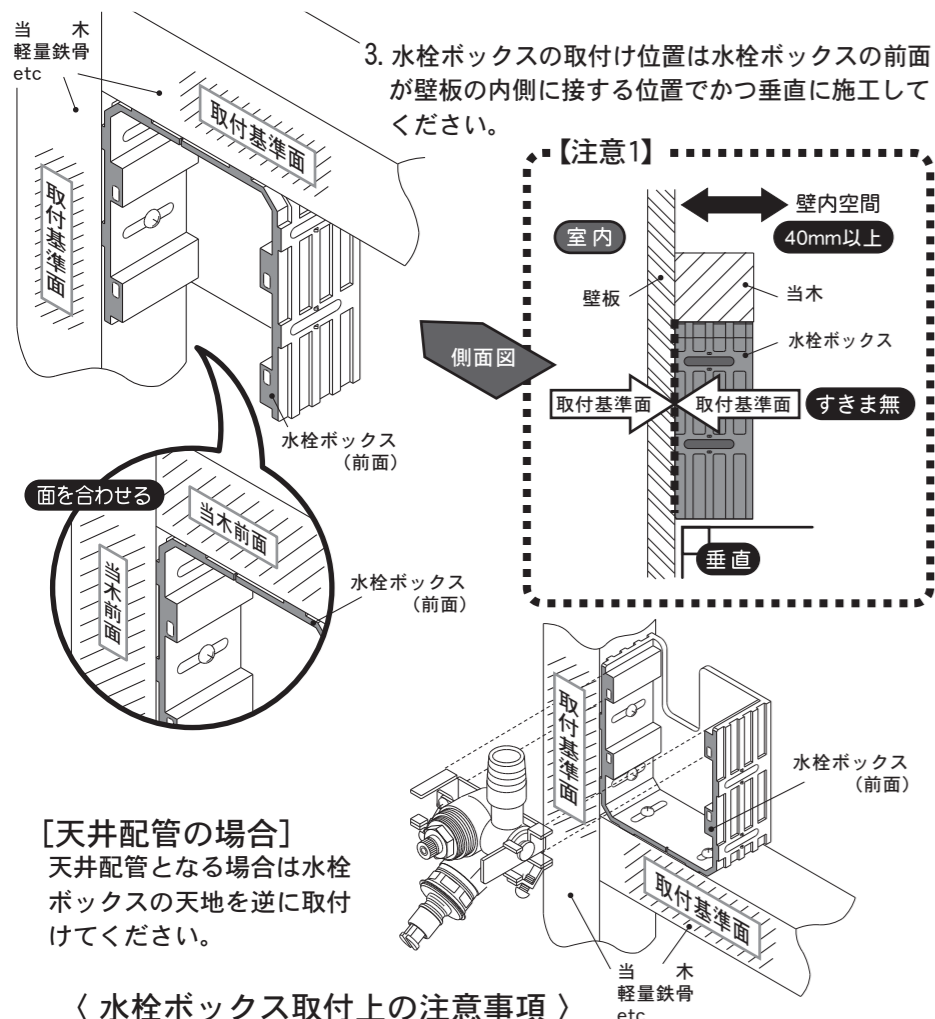
-2-

下向配管施工時の注意点

塩ビ管接続の時20×13バルブソケットは使用できません。(一旦13mmに変換してから接続してください。)



株式会社 タブチ



〈水栓ボックス取付上の注意事項〉

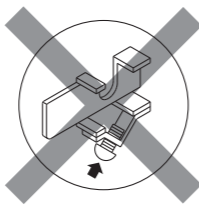
注意	
!	水栓ボックスの当木への固定は必ず2面以上で行ってください。ガタツキにより部材の破損が生じ、漏水の原因となります。
!	水栓ボックスはガタツキがないように堅牢に取付けを行ってください。ガタツキは部材破損の原因となります。

-3-

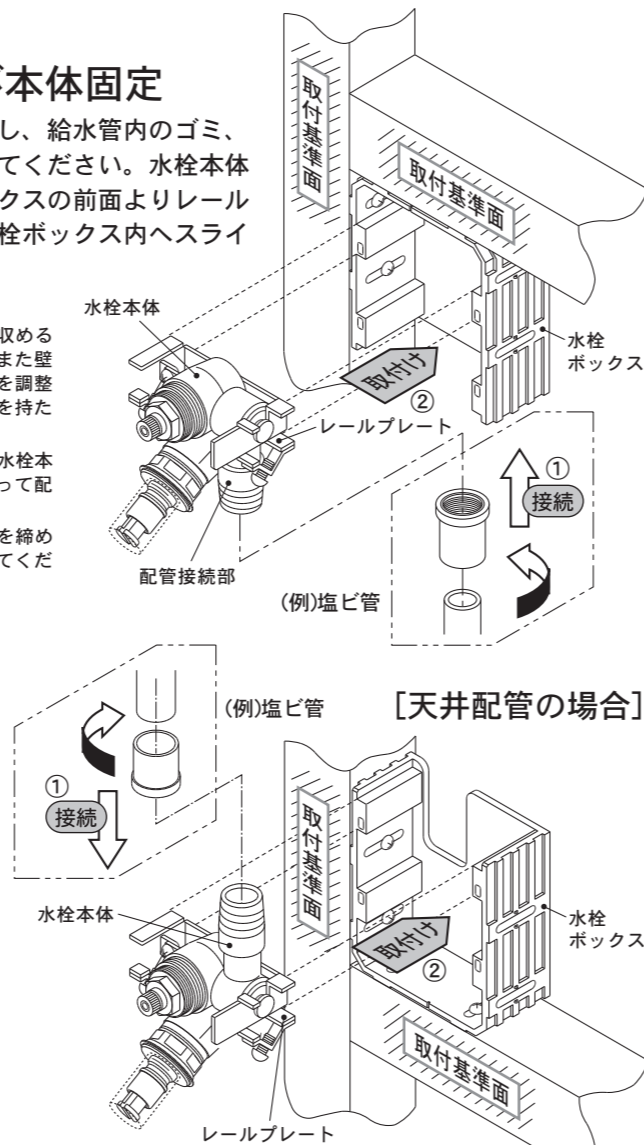
2.管の接続及び本体固定

取付け前には必ず通水し、給水管内のゴミ、砂等を完全に洗い流してください。水栓本体に管を接続し水栓ボックスの前面よりレールに沿って水栓本体を水栓ボックス内へスライドさせてください。

- 水栓本体を水栓ボックスに収める際は前後への移動となり、また壁板施工後に水栓本体の位置を調整するため配管に多少の遊びを持たせてください。
- 壁板厚12.5mm以上ある時は水栓本体の配管接続部を後方に振って配管してください。
- レールプレートの固定ビスを締め込む場合は仮止め程度としてください。



- 水栓本体に接続する継手の最外径は35mm以下としてください。



-4-

後付配管(さや管工法)の場合は水栓本体を水栓ボックスに収めておいて壁板施工後に配管を行ってください。配管施工後に押し戻しにくい場合は水栓とレールプレートを外し、先にレールプレートの水栓ボックスに取付けてから水栓を固定してください。

〈管の接続時の注意事項〉

!	管の接続作業は水栓本体を水栓ボックスに固定した状態では行わないでください。増し締めなどの作業により水栓ボックスが破損する恐れがあります。
!	壁板が12.5mm以上の厚さの時は水栓本体の配管接続部を後方に振って配管してください。真下に配管すると壁板に当たり施工できない恐れがあります。
!	水栓本体に、接続する継手の最外径は、35mm以下としてください。それ以上の継手を接続すると、水栓本体が水栓ボックスに収まらなくなる恐れがあります。
!	取付け後の耐圧検査は必ずバルブを閉じ、緊急ストッパーを解除した状態で各部の漏水確認を行ってください。緊急ストッパーの作動による耐圧検査は器具が破損する恐れがあります。注)製品の出荷時はバルブを開いています。
!	レールプレートの固定ビスは何度も締め付けしないでください。何度も締め付けると水栓ボックスに癖が付き水栓位置の微調整が出来なくなる恐れがあります。

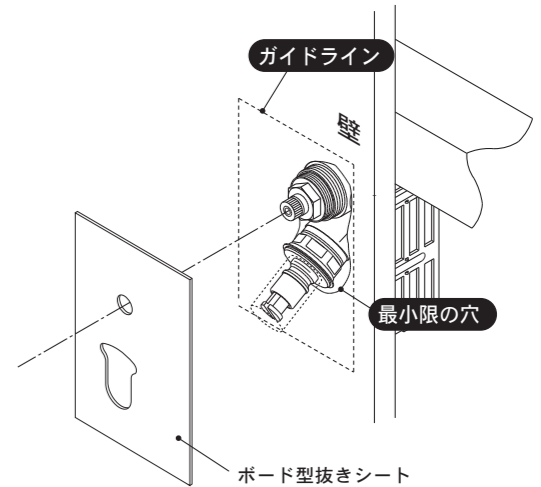
※次工程の壁板施工時までパーツ等を大切に保管しておいてください。

-5-

3.壁板施工

壁板施工時に水栓取付けに必要な穴を開けてください。水栓の突起に当たらない最小限の穴を壁板に開けた後、同梱の型抜きシートを使用してガイドラインに沿って穴を開けてください。

●穴の開けすぎにはご注意ください。●壁板施工前に穴を開ける場合には寸法図を参照してください。

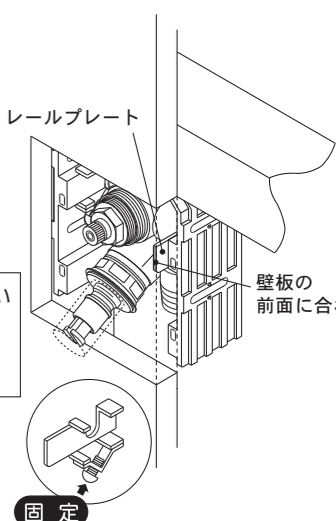


-6-

4.水栓本体の固定

レールプレートに付いているゲージを壁板の前面に合わせてください。その位置でレールプレートの固定ビスを締め付け水栓本体を水栓ボックスに固定してください。

- 水栓本体を水栓ボックスに固定する際は手動で行い電動ドライバーなどを使用しないで下さい。水栓ボックスを破壊する恐れがあります。

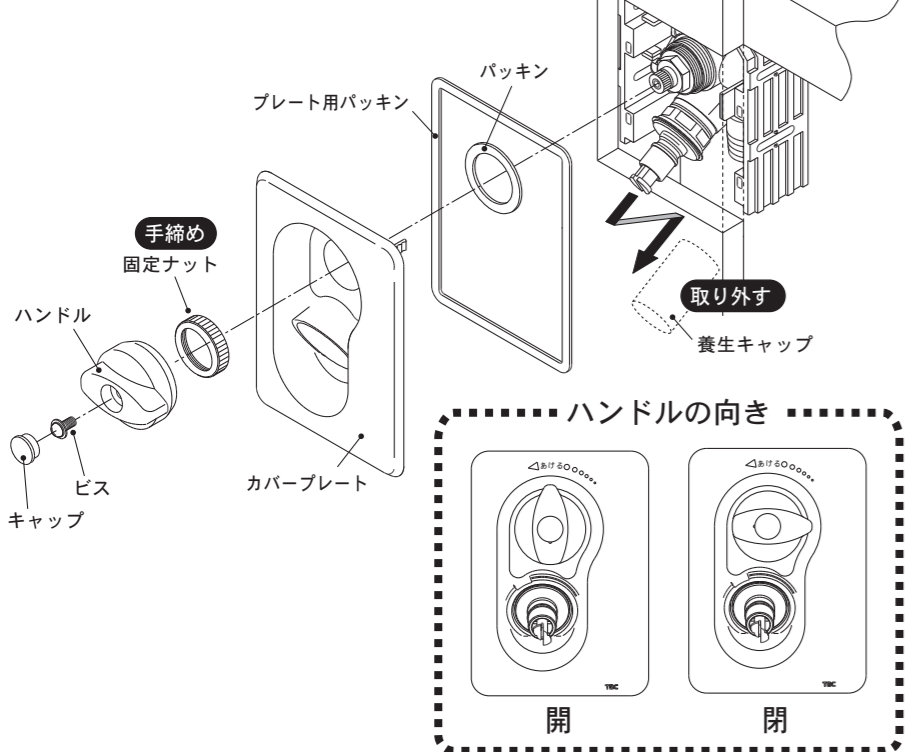


固定

5.完了

- 1.カバープレートの水栓本体に取付け固定ナットで固定してください。
- 2.バルブの開閉状態を確認しハンドルを取付けてください。

●取付け後は必ず、水栓のガタツキ及び操作確認を行ってください。



＜カバープレート取付け上の注意事項＞

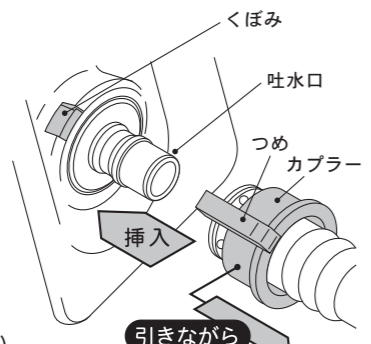
- 壁板に穴を開ける寸法は必ず、型抜きシート及び寸法図通りに開けてください。穴の大きさが異なるとカバープレートの接触や隙間により、美しく取付けが出来なくなります。
- カバープレートの取付け後、水栓本体のカブラー吐出部のツバが完全に露出していることを確認してください。不完全な露出は洗濯機用カブラーホースが接続できず漏水する恐れがあります。

6 使用上のご注意(お客様へ)

■洗濯機用カブラーホースの接続

本製品は規格品の洗濯機用カブラーホースに対応しています。(日本電気工業規格JEM1206)カブラー部を図のように引きながら、水栓の吐水口に挿入してください。また、カブラーのつめはカバープレートのくぼみへ引っかけてください。接続後はホースを軽く引っ張りホースが簡単に抜けないことを確認してください。

- カブラーが正しく接続できない場合はカブラーの形状が違っており、おそれがあります。規定のカブラーをお買い求めください。
- カブラーを抜く時はつめを立て上記と同じ要領で抜いてください。



＜洗濯機用カブラーホース取扱上の注意事項1＞

- 注意**
- 洗濯機用カブラーホースを接続する際は上記図のように正しく挿入してください。強引な挿入により部材の破損が生じ、漏水の原因となります。
- 洗濯機用カブラーホースは必ず日本電気工業会(JEM1206)の規格製品をお使いください。シール不足やホース抜けによる漏水の原因となり、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

＜緊急ストッパー取扱上の注意事項＞

- 注意**
- 〔緊急ストッパー付の場合〕洗濯機用カブラーホースを接続する際は必ず水栓のハンドルを閉じ、吐水口内の水圧を抜いてから接続してください。水圧により接続ができない場合があります。(方法はP12を参照ください)
- 〔緊急ストッパー付の場合〕万が一、洗濯機用カブラーホースが外れても自動的に漏水を防止する機能を備えておりますが、器具を使用しない時は必ず水栓のハンドルは閉じてください。

3 施工後の確認

〔ハンドルについて〕

- ハンドルが閉まっている事を確認ください。

緊急ストッパーでも止水は可能ですが、万が一に備えハンドルは閉めておいてください。

〔緊急ストッパーについて〕

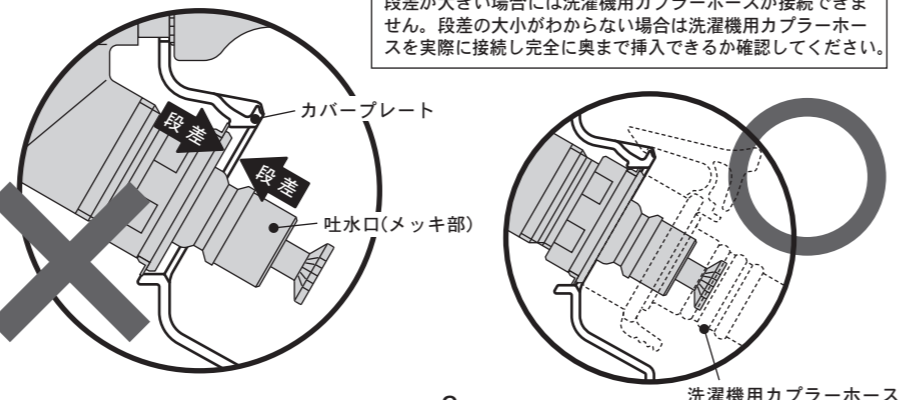
- 緊急ストッパーのシャフトを揺すって吐水口内部の水圧が抜けていることを確認してください。また動かない場合は元栓を閉じハンドルを開いてからシャフトを揺すってください。(元水圧が高い場合はシャフトが固い場合があります。)

緊急ストッパーが固く動かない場合には、使用者側で洗濯機用カブラーホースを接続する際に、戸惑う場合がありますので、必ず緊急ストッパーは解除した状態で引き渡してください。

〔カバープレートについて〕

- カバープレートと吐水口に大きな段差がある場合は、何らかの要因により、水栓本体の位置がズレています。4. 水栓本体の固定を参考に水栓本体の位置調整を行ってください。

段差が大きい場合には洗濯機用カブラーホースが接続できません。段差の大小がわからない場合は洗濯機用カブラーホースを実際に接続し完全に奥まで挿入できるか確認してください。



■洗濯機用カブラーホースが外れた時の対処法

万が一、通水中に洗濯機用カブラーホースが外れた場合には吐水口に内蔵された緊急ストッパーが作動し、水が漏れない構造になっています。再度、洗濯機用カブラーホースを接続する場合は下記の要領に従って解除を行ってください。また、洗濯機用カブラーホースを接続せずに水栓のハンドルを開けた場合にも同様の作業を行ってください。

- 1.水栓のハンドルを右に回して水を止めてください。

- 2.吐水口に溜まった水がこぼれないように吐水口まわりにタオル等を設け、緊急ストッパーのシャフトを手などで揺すってください。(吐水口内部の水圧が抜けます)

- 水圧が高く緊急ストッパーが動かない場合は元栓を閉じ、ハンドルを開いてからシャフトを揺すってください。

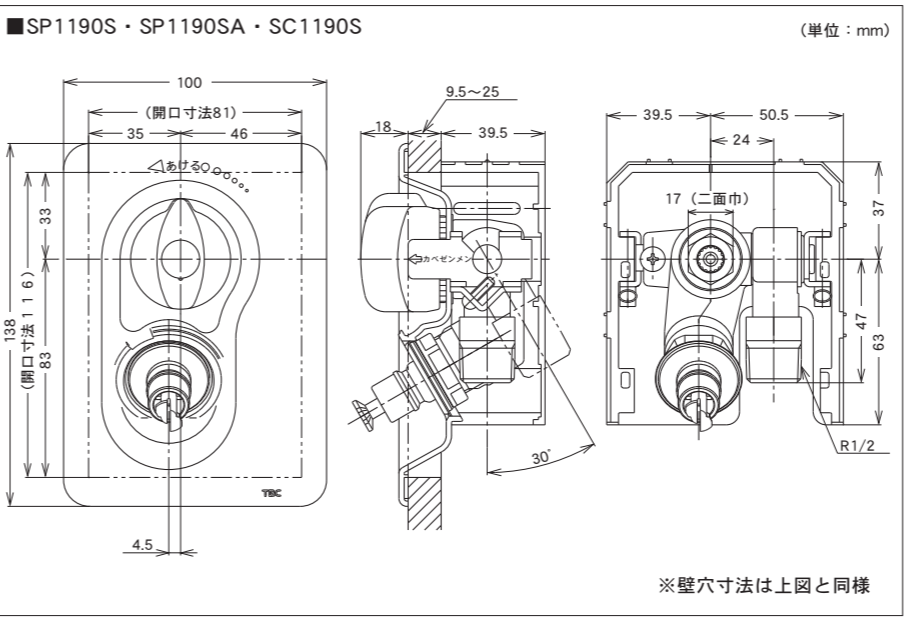
- 3.前項の洗濯機用カブラーホースの接続に従って接続を行ってください。

＜洗濯機用カブラーホース取扱上の注意事項2＞

- 注意**
- 洗濯機用カブラーホースの接続の際は必ず水栓のハンドルを閉じてから行ってください。水の飛び散り及び部材破損の原因となり、漏水の原因となります。

4 仕様・寸法図

SP1190S	緊急ストッパー	(取付条件) 壁内空間:40mm以上 対応給水圧力:0.05MPa~0.75MPa
SP1190SA	緊急ストッパー・ウォータハンマ緩衝機構付	
SC1190S	緊急ストッパー・逆止弁なし	



■洗濯機用カブラーホースが接続できない場合

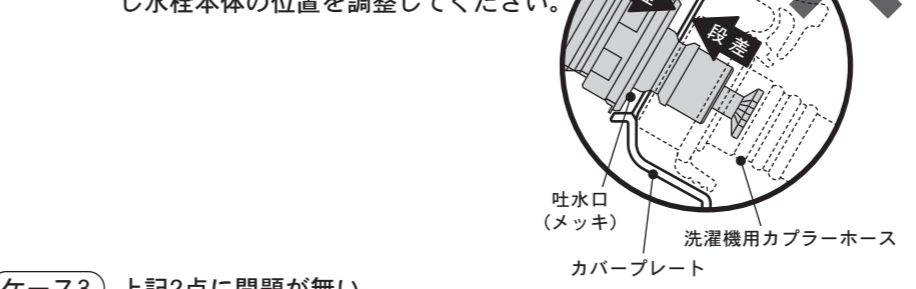
洗濯機用カブラーホースが奥まで挿入できない。また、洗濯機を作動させるとカブラーホースが抜ける等の不具合が起きる場合は、下記の手順に従って点検してください。

- ケース1 緊急ストッパーのシャフトが固く動かない。

対策 前ページの洗濯機用カブラーホースが外れた時の対処法に従って緊急ストッパーを解除し、カブラーホースを接続してください。

- ケース2 カバープレートと吐水口に大きな段差がある。また、カブラーホースがカバープレートに接触し、奥まで挿入できない場合。

対策 カバープレートを外し水栓固定ネジをゆるめた後、4.水栓本体の固定を参照し水栓本体の位置を調整してください。



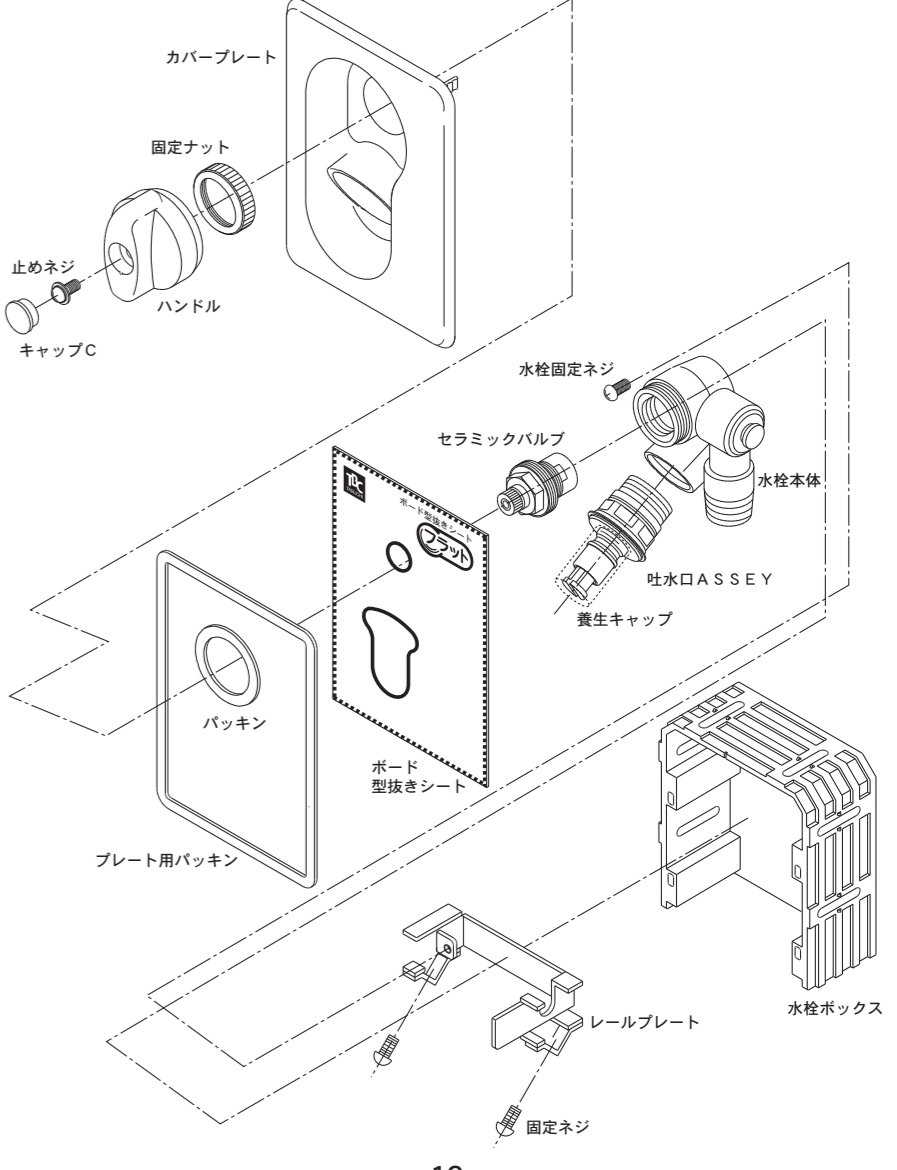
- ケース3 上記2点に問題が無い。

対策 カブラーホースが規格に適合していない可能性があります。日本電気工業規格(JEM1206)に適合した洗濯機用カブラーホースをお買い求めください。

(適合品番/全自動洗濯機)	(適合品番/二層式洗濯機)
TBC T17-1X-1	TOTO TH277
SAN-EI PT17-1-□	SAN-EI T17-4F
カクダイ 4365-□	カクダイ 7726
ブリジストン BK-H□	

※□はホース長さ

5 構成図



■洗濯機用カブラーホース接続後に水がでない場合

- ケース1 ハンドルが開いていない。▶ 対策 ハンドルを開けてください。

- ケース2 カブラーホースが奥まで完全に装着できていない。

対策 そのまま、完全な状態まで装着するか、前項の洗濯機用カブラーホースが接続できない場合に従って接続し直してください。

- ケース3 その他の要因として吐水口内部の逆止弁にゴミかみ等が考えられます。

対策 購入先の工事店か当社事業所に依頼し、水栓のメンテナンスを行ってください。

■お手入れについて

- 水栓器具がいつまでも美しさを保つよう、次の要領でお手入れをしてください。
- 普段は柔らかい布に水またはぬるま湯を浸し、よく絞った後よこれを拭き取ってください。
- よごれのひどい場合は中性洗剤をぬるま湯で薄め、浸した柔らかい布でよごれを拭き取ってください。その後、乾いた柔らかい布で磨いてください。

- 注意**
- 酸性洗剤・塩素系洗剤・鉱物性潤滑油・シンナー・ベンジンなどは樹脂部品を傷めますので使用しないでください。本製品はカバープレート等に樹脂製品を使用しております。

修理の際はお求めの工事店にご依頼ください。なおご不明な点は最寄りの当社事業所までご相談ください。

水と暮らしを結び 商品のお問合せは **株式会社 タブチ** **0120-481-130**

〈本社/工場〉〒547-0023 大阪市平野区瓜破南2丁目1-56
 〈支店/営業所〉札幌・盛岡・仙台・北関東・新潟・千葉・土浦・西関東
 首都圏・静岡・金沢・名古屋・大阪・岡山・広島・福岡・南九州・沖縄
 TEL 06-6708-0150(代) FAX 06-6708-0210
 受付時間:9:00~18:00(土・日・祝日・夏季休暇・年末年始を除く)